

平成28年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

1 活動方針

少子・高齢化の進行や子どもに対する虐待の深刻化など福祉ニーズは多様化・複雑化し、家庭環境の変容や社会的孤立、就業へのミスマッチング等による経済的困窮の状態にある生活困窮者の増加等、地域の新たな生活課題や福祉課題への対応が急務となっています。

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）や介護保険法の改正、さらには社会福祉法人制度の見直しが行われ、地域での支えあいが明確に打ち出されるなど、地域福祉を取り巻く状況が大きく変化しております。

東日本大震災から5年が経過し、国の被災者支援も前期の集中復興期間から後期の復興・創生期間へと移行することとなり、地方自治体が事業主体での復興事業といえども、一部負担が求められることとなり、地域経済への影響が懸念される状況にあります。

本市域では水産加工団地の完成、新魚市場の建設促進、災害公営住宅建設、防災集団移転事業による住宅の建設等生活基盤・産業基盤の再生、そして三陸道の北進など、地域再生への動きが日増しに実感できる状況にあります。未だ、多くの方々が応急仮設住宅等に入居されており、心のケア、見守り、コミュニティ構築支援など被災者の生活再建への支援が求められております。

本会としましては、地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間団体として、会費、寄付金、共同募金配分金、介護保険事業等による報酬などを基盤としつつ、市等と協働した公共性の高い事業に取り組むための補助金や委託費等を確保し、被災された方々の自立・復興支援対策に加え、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療、福祉、地域などの多様な組織による地域包括ケア推進協議会でのアクションプランの実施に積極的に取り組むとともに、第2期「気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を推進し、住民参加による見守り、助け合い活動による、コミュニティ構築支援事業に対して市や関係機関、団体と連携・協働して取り組んでまいります。

2 重点目標

（1）地域福祉の推進

東日本大震災による被災者支援に最善の努力を傾注しながら、被災者支援に取り組むとともに、本会の地域福祉活動計画に基づき、地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携・協働して、地域の生活課題解決のため、小地域ネットワークを基盤とした相談・支援体制の強化のため、地域コミュニティ再編への支援に取り組んでまいります。

また、医療と介護の一体的な展開や日常圏域での地域包括ケアシステムの推進に積極的に取り組んでまいります。

なお、本年度から地域支援事業の中の新しい介護予防・日常生活支援総合事業が本格的に実施されることから、これまでの行政主体のサービス提供から専門職によるサービス・支援に加え、関係機関及び住民参加を重視した多様なサービスの提供に努めてまいります。

（２）介護・福祉活動の拠点の整備・活用

社協の使命である地域福祉の推進に当たっては、その活動拠点の整備が重要であります。東日本大震災後の本会の活動拠点の多くが民間施設の借用であり、駐車場の不足を余儀なくされており、地域福祉推進のための社協の拠点施設の整備が急務となっていることから、その整備に向け検討してまいります。

本年度から５か年間にわたり、気仙沼市の公の施設の指定管理者として指定を受けたことから、その運営・維持管理には万全を尽くしてまいります。

また、介護保険事業収入を確保しつつ、自主財源を活用しながら、良質なサービスの提供に努めるとともに、事業の安定化と将来を見据えた活動拠点の整備・活用を図ってまいります。

（３）人材確保・育成

現下の厳しい経済環境、雇用情勢の中で、有資格者をはじめ事業推進に必要な人材の確保が一層困難な状況が続いております。

このことから、ハローワークのほか、あらゆる手法・手段により積極的に求人募集を行い、潜在的な有資格者の掘り起こしのため職場環境、処遇の改善を図り、福祉・介護分野での安定的な人材確保に努めます。

今後においても、本会職員の資質向上に向けた専門的な知識、技術の習得を目指し、職員研修の充実強化を図りながら、職員の交流、情報共有に努めるとともに、新たな雇用による人材の確保、育成、定着を目指します。

（４）組織管理体制の強化

本会で展開している介護保険事業や障がい者支援事業においては、利用者との契約に基づくサービスの提供、一定の採算性の確保など、法人としての経営責任や経営判断が一層強く求められることから、それらを担うことができる組織体制の構築を図ります。

また、社協組織が地域住民からの理解と信頼を得るため、法令遵守の下、自己研鑽に努め、住民の要望や福祉ニーズに的確に対応した施策や活動に積極的に取り組み、リスク管理や制度の改正を注視し、組織体制の強化に努めます。

（５）福祉サービス提供における「安心・安全」の確保

地域住民がより安心・安全な暮らしが送れるように、支援を必要とする人を地域で支え合う小地域福祉ネットワーク事業に重点的に取り組みます。

また、本会施設・事業所を安心・安全に利用できるよう防災体制の整備とともに、施設・事業所における感染症、衛生管理、情報の共有等のソフト面と車輛、施設等のハード面の整備も充実・強化し、福祉サービス提供における「安全・安心」の確保に努めます。

（６）各地域における福祉サービスの強化

地域特性を生かした福祉サービスの充実に努めるとともに、制度によるサービスだけでは解決できない福祉課題、生活課題への対応のため、社協内部の連携を強化します。

① 本所（法人全体）

- ア これまで実施してきた事業の評価及び再点検を行い、地域福祉活動計画との整合性を図りながら、新たな事業への取り組みが図られるよう、実践的な活動推進に努めます。
- イ 介護保険サービスの充実・強化に努めるとともに、人材や情報等の資源を活かし、地域包括ケアの推進に取り組みます。
- ウ 東日本大震災を教訓として「気仙沼市社会福祉協議会防災計画」を策定し、災害ボランティアセンター等の体制強化を図るため、内部研修及び訓練を実施するとともに、ボランティア団体等と連携し、地域ボランティアの養成に努め、災害に強い社協を目指します。

② 唐桑支所

- ア 地域の様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて地区社協や自治会長などが主体となって取り組む福祉活動へ積極的に支援します。
- イ 介護保険サービスの充実・強化に努めるとともに、人材や情報等の資源を活かし、地域包括ケアの推進に取り組みます。
- ウ 災害時に備え、ボランティア団体等と連携し、地域ボランティアの養成に努め、災害に強い社協づくりにより安全安心な地域づくりを目指します。

③ 本吉支所

- ア 地域の様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて、隣組から振興会・地域振興会単位のミニ社協・地区社協・本吉地域全体での重層的な支えあいの仕組みづくりを行い、小地域福祉ネットワーク活動を基盤とした地域福祉活動への積極的な支援と実践に取り組みます。
- イ 日常の活動を通して住民の生活課題の継続的な把握に努め、課題の解決に向けた様々な活動との連携や新たなサービスの創設など、常に住民の生活に密着した活動を展開します。
- ウ 本吉地域福祉まつりをはじめとする住民交流やボランティアセンター事業、福祉教育に積極的に取り組み、みんなで支えあい、学びあう中で福祉意識の醸成と地域活動実践者となる地域人材の育成に積極的に取り組み、福祉コミュニティ作りを推進します。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会や議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに進めていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会 2回 理事 16名、評議員 33名 当初予算額 735,000 円
評議員会の開催	
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事 3名 当初予算額 155,000 円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。また、研修会への参加など、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000 円

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、委員会において活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を年2回開催し、各地区社協の代表委員において、活動計画で掲げた具体的取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。 ・地区社協ごとに住民懇談会を開催し、上記活動計画推進委員会での評価等の報告・説明を行うとともに、地域ならではの具体的な地域福祉活動に向けた話し合いや取り組みを進めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 345,000 円
地区社協活動への支援	地区社協会長会議の開催 ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年2回以上開催し、情報共有と意見交換を行ないます。特に今年度は災害公営住宅入居が本格化することから、福祉のコミュニティづくりに向けた先駆的な活動事例を発信し、住

	民参加による相互支援の広がりを図ります。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 182,000 円 地区社協活動支援 ・地域福祉コーディネーターの配置に向けて、人材育成を柱とした研修等を段階的に行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 234,000 円 ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 2,321,000 円
ふれあい相談センターの運営	ふれあい相談センターの運営 【気仙沼地区】 月曜日から金曜日までの（木曜日を除く。）午前9時から午後3時まで開設し、地域住民がいつでも相談に来られる体制を確保し、研修の機会を設定しながら相談員の資質向上に努めていきます。また、宮城県サポートセンター支援事務所の協力を得て、弁護士による法律相談等を実施し、専門職と連携しながら重層的な支援が行える体制の構築を進めていきます。 【本吉地区】 多様化する生活課題に対応するため、6名の民生委員の協力を得て、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで相談窓口を開設し、生活相談を実施します。また、月曜日以外については支所職員にて相談に対応します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 2,287,000 円
小地域福祉ネットワーク活動の推進	誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が支えあう福祉コミュニティを目指し、小地域福祉ネットワーク活動の推進に努めます。 ・小地域福祉ネットワーク推進会議を開催し、この活動の具体的・実践的推進に向け検討を行います。また、住民向けのパンフレットを作成し、理解促進と組織づくりに努めます。 ・地区社協内への小地域ネットワーク連絡会議設置に向け、協議を進めます。 ・支えあいのモデル地区を1地区指定し、住民相互の手づくり福祉活動を展開することにより地域での支えあいの強化に努めます。 ・地域福祉推進フォーラムを地区社協単位で開催し、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。なお、次年度以降は地区社協等地域単位で開催できるよう支援に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 879,000 円
地域包括ケアシステムの構築推進	気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランに基づき、構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組みます。
広報紙の発行	年6回「社協だより」を発行し（偶数月・全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービス等の情報提供を行うことにより、住民参加による安心して暮らせるまちづくりの推進を目指します。また、本吉地域においては、年6回奇数月に「本

	吉支所だより」を発行し、本吉地域の全戸に配布します。 当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 1,865,000 円
本吉地域福祉まつり	『みんなでいろんな輪をつくろう』を開催テーマに市民が楽しく主体的に集うことにより福祉を身近に感じるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう一人ひとりの自発的な行動と共助について考え、理解を深める場として開催します。開催月：6月 当初予算額 福祉育成援助事業の内 283,000 円
地域福祉懇談会の開催（本吉地域）	日々の地域福祉活動と併せて地域における福祉懇談会を定期的を開催し、住民の声を聞く姿勢を強化し、生活課題の把握及び地域福祉活動に必要な情報提供を行い、地域で支えあう福祉力を高めていきます。 本吉地域内 3地区社協または15のミニ社協（地域振興会）単位で開催 当初予算額 福祉育成援助事業の内 10,000 円
地域福祉活動推進体制の整備（本吉地域）	地域の様々な生活課題の解決に向けて、隣組から振興会、地域振興会単位のミニ社協、地区社協、本吉地域全体での重層的な支えあいの仕組みづくりを進めます。小地域福祉ネットワーク活動の推進に向け、地域福祉懇談会などでの地域福祉活動状況の把握を行うとともに、振興会や地区社協等への情報提供等の活動支援に取り組みます。 当初予算額 福祉育成援助事業の内 30,000 円
本吉地域ひまわり会交流事業	一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的にボランティア団体及び本吉響高等学校の協力を得て、公民館施設等を活用しながら年5回実施します。また、より多くの方に参加頂けるよう今年度より会場を地区持ち回りで実施していきます。 実施月：7月、10月、12月、1月、3月 当初予算額 老人福祉活動事業の内 329,000 円
こどもまつり	これまで取り組みの弱かった児童分野において、市内の既存活動グループの把握と連携を図りながら、楽しみながら当事者を中心に地域で子育てをする環境づくりを推進します。 当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 175,000 円
善意銀行の運営	市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。
屋内ゲートボール場の運営	市民の福祉向上と健康の増進及びスポーツの振興のために、適切な施設の維持管理に努め、利用促進を図ります。 当初予算額 2,642,000 円

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等へのより一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	・ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等ボランティアの育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。 ・地域における様々なニーズを解決するために養成講座を開催し、地域福祉やボランティアに携わる人材のすそ野を広げ、地域力の向上を目指します。 ・地元ボランティア団体の交流会開催により、今後、気仙沼の新たなまちづくりを共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進め福祉のまちづくりを推進します。 ・ボランティア意識の啓発を図り、人とのつながりの中で共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・大規模災害に備え災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、機能強化に努めます。 当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 1,835,000 円
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進 (本吉地域)	ボランティアセンター機能の強化を図り、ボランティアに援助を求める方とボランティアを始めたい方を繋ぐ役割として、ボランティア活動に関する情報を支所だより等を活用しての提供や、調査、ボランティアの交流、施設・団体・地域との連携、ボランティア懇談会等の開催などを行っています。 当初予算額ボランティア活動育成事業の内 392,000 円

4. 福祉教育

市内小中学校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒の福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	福祉教育活動費補助金交付事業 学校教育における福祉活動への活動費の補助により継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。 当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 320,000 円 福祉教育、企業、団体への職員派遣事業 機会を捉えて市社協職員を派遣し、福祉への理解を深めることや地域活動に対する意識の啓発を行い、地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。 敬老作文募集事業 敬老の日に因んで敬老作文の募集をすることにより、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。 当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 385,000 円
福祉教育の推進 (地域住民対象) (本吉地域分)	地域人材の育成活動として、地域活動実践者育成の学習会や研修会を開催します。また、公民館や地域の振興会と連携した福祉学習の開催、福祉学習プログラムの提供を行い、地域で学びあう中で、福祉意識の醸成と支えあう地域社会づくりに取り組みます。 当初予算額 0 円
福祉教育の推進 (子ども対象) (本吉地域分)	小・中学校、高校へ福祉教育学習プログラムの提供を行うとともに、疑似体験やボランティア活動等の体験支援を積極的に行うことで、体験や活動を通して思いやりの気持ちやみんなで支えあうことの大切さなどの福祉意識が醸成されるよう取り組みます。 当初予算額 0 円

5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	低所得世帯等の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、担当民生委員や関係機関との連携の強化を図り、必要な相談支援を進めます。また、資金の貸付だけで終わることがないよう世帯の現状を把握し、生活困窮者自立相談支援事業所等との連携を強化しながら、総合的な生活支援に努めます。 当初予算額 8,618,000 円

生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の資金を貸付けすることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、自立支援に努めます。また、担当民生委員との情報共有を図り、生活課題の早期発見と早期支援に取り組めます。 当初予算額 513,000 円
------------	---

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	被災した低所得世帯の生活復興を支援するため、関係機関と連携しながら地域住民の相談支援に取り組めます。また、早期に生活の再建が図られるよう関係機関との連携の強化を進め、総合的な生活支援に向けた働きかけを行います。
特例緊急小口資金貸付事業	震災発生時に貸付を行った資金の債権管理と借受世帯の生活再建状況に応じた償還指導の強化を進めます。

6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に早期に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内に発生した火災による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 30,000 円

7. 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援や情報提供に努めます。

事業名	内 容
日常生活自立支援事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（呼称：まもりーぶ気仙沼・南三陸）	判断能力が十分でない方の日常的な金銭管理及び書類管理並びに見守りを通し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や、事業所に対する本事業の理解の促進が図られるよう、より積極的な働きかけを行います。また、専門員と生活支援員の適正雇用の確保及び担当課内のサポート体制の強化を図るとともに、生活支援員への研修の場の設定、専門員研修への積極的な参加等により職員の資質の向上を図ります。併せて事業実施主体である宮城県社会福祉協議会との事業内容の整合性を図りながら、適正な事業の実施に努めます。 当初予算額 10,456,000 円
障害者福祉の推進	障害者福祉活動事業（視覚障害者との交流会） 視覚障害者と登録ボランティアや市民ボランティアとの交流会を開催し、相互の現状把握と理解を深めながら、今後の事業推進に向けて情報の収集を行

	います。 録音サービス事業 視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループの協力により「広報けせんぬま」や「社協だより」等を録音し、希望者に配布することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報発信に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 74,000 円 点訳サービス事業 視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、確実な情報確保を進めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 169,000 円
ガイドヘルパー派遣事業	視覚障がい者の社会生活を支援するために、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパーを確保するための養成講座を行うほか、現任者に対するフォローアップ研修を実施します。 当初予算額 障害児者福祉活動事業 385,000 円

（２）指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等関係法令を遵守し、また、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、本人の立場に立ち、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質の向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (多機能型事業所：就労移行支援・就労継続支援 B 型)	利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に提供するように努めます。 生産活動に関しては、新規事業の開始をはじめ、活動内容の見直しを適宜行い、増収を図ることで、より多くの工賃を利用者に支給できるように努めます。 当初予算額 91,301,000 円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業所)	利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排泄及び食事の介護、生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に提供するように努めます。 地域のニーズの調査を行い、必要に応じ生活介護に加え、就労継続支援 B 型のサービスを併せて提供する多機能型施設への変更について検討を行い、地域における障害者支援の拠点施設となるよう努めます。 当初予算額 48,550,000 円
気仙沼市マザーズホーム	気仙沼市及び隣接する市町村に居住する障害児及び保護者を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービスを適正に提供することで、日常生活の基本的動

（多機能型事業所： 児童発達支援・放課 後等デイサービス）	作や集団生活への適応力の向上を図り、併せて保護者の養育負担の軽減や精神的安定の向上に努めます。 本年度から利用定員を児童発達支援、放課後等デイサービスとも5名から10名に増員を図り、より多くの方に安心して施設サービスを利用いただけるようサービス内容の充実を図り、利便性の向上に努めます。 当初予算額 33,775,000 円
松峰園相談支援セン ター （指定特定相談支援 事業所）	利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者等の立場に立ち、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮しながら、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者等の選択に基づき、適切なサービスが提供されるよう努めます。併せて必要な地域資源の開発、改善にも努めます。 当初予算額 1,386,000 円
指定共同生活援助事 業（介護サービス包 括型）「つばさ」	利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じた共同生活住居において相談、入浴、食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めます。 当初予算額 6,340,000 円
気仙沼市ホームヘル プサービス事業所	障害を持った方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、障害特性に配慮しながらきめ細やかなサービス提供に努めます。 当初予算額 2,080,000 円
訪問介護ステーショ ンからくわ	障害を持った方が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、関係機関と綿密な連携を図り、総合的かつ効果的なサービス提供に努めます。又、サービス提供体制を強化し安定経営に努めるとともに、職員研修の参加によるサービスの質の向上、事故防止と感染予防の徹底に取り組みます。 当初予算額 980,000 円
ヘルパーステーショ ンもとよし（居宅介 護）	障害を持った方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、決め細やかなサービス提供に努めます。また、サービス提供体制を強化し安定経営に努めるとともに、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。 当初予算額 12,516,000 円

（３）地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービ スからくわ (身障)	利用者・家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう良質で安心できるサービス提供し、介護の質の向上に常に努めます。また、地域の医療・福祉機関との連携

	を大切にするとともに、事故防止と感染予防を徹底します。 当初予算額 1,000,000 円
訪問入浴サービスも とよし（身障）	利用者と家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、気持ち良く日々過ごせるよう支援していきます。住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう安全で良質なサービス提供に努めるとともに、職員研修を強化しサービスの質向上に努めます。 当初予算額 1,313,000 円

8. 在宅福祉事業

（１）在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外への移動困難な方の生活支援を目的に、依頼に基づきリフト付ワゴン車の貸出及びボランティアによる移送を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 228,000 円
生活支援型食事サービス事業	栄養バランスのとれた食事の提供と安否確認を行うことで、利用者やその家族が安心できるように、関係者間で密に連絡調整を行い、安定したサービス提供を行います。 当初予算額 3,902,000 円
在宅ふれあい型交流事業	高齢者等の孤立予防と高齢者同士または地域住民との交流を通して、住民同士が支え合う心の醸成を図ります。 当初予算額 老人福祉活動事業の内 836,000 円
安否確認訪問サービス事業	虚弱な一人暮らしの世帯、虚弱な高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じた声掛け訪問による安否確認を行います。 当初予算額 124,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 35,000 円

（２）老人福祉センターの指定管理

高齢者が健康で豊かな生活が送れるよう各種相談や地域の方々との支援等により、生きがいづくりや自立生活の援助に取り組みます。

センター名	内 容
気仙沼市老人福祉セ	気仙沼市の条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応じる

ンター 福寿荘	とともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクレーションのための便宜を総合的に供与できる体制を充実させます。介護予防事業も併せて充実させ展開します。 当初予算額 25,580,000 円
本吉老人福祉センター（生きがい活動支援通所事業）	気仙沼市の指定管理に関する基本協定書に基づき、高齢者が健康で心豊かな生活を送られるよう、各種の相談に応ずるとともに、貸館等の利用者にとって、安全で居心地のよい環境となるよう施設の維持管理の徹底に努めます。 本吉保健福祉センターを活動拠点にサービス提供している生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）は、利便性の向上と施設設備の拡充により、これまで以上に活動の幅を広げながら、慣れ親しんだ地域の方々との交流や趣味活動等を通じて、生きがいづくりや自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図ります。 当初予算額 本吉老人福祉センターの内 640,000 円 当初予算額 元気デイサービス事業の内 8,107,000 円

（３）指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護を要する高齢者が可能な限り在宅での快適な生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。事業は、法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざして実施し、さらには事業の採算性に留意するとともにサービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

なお、訪問介護事業所においては、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスを実施し積極的に地域包括ケアシステムを推進します。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、利用者の立場に立ち生活全体を支えるケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。また、主任介護支援専門員配置等による加算等の適正な事業所体制を維持強化します。 当初予算額 20,000,000 円
燦さん館ケアプランセンター	利用者が住み慣れた地域でその人らしく暮らせるように、心身の状況や生活環境に応じた居宅サービス計画を作成するとともに、当該計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、サービス事業者や関係機関との連絡調整などを適切に行い支援する。また、他職種や地域の医療機関、地域包括支援センター等との連携強化を推進し地域で信頼される事業所を目指し努力する。

	当初予算額 17,796,000 円
津谷居宅介護支援事業所	利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方を繋げ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える視点で自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。事業所として適正な運営を行うよう日々確認しながら法令遵守を徹底し管理機能を強化するとともに、介護支援専門員一人一人の更なる質の向上を図り、多職種との連携を図りながら中重度者や支援困難ケースへの積極的な対応を行うなどサービスの質の向上に努めます。 当初予算額 34,887,000 円

②訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	要介護または要支援にある利用者が、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう、きめ細やかなサービス提供に努めます。 事業の運営、サービス提供に当たっては、常に法令順守に配慮します。 当初予算額 19,548,000 円
訪問介護ステーションからくわ	住み慣れた家庭等（利用者宅）にホームヘルパーが訪問し、身体介護、生活援助等のサービスを提供致します。利用者一人ひとりの心身の特性を踏まえて援助計画を策定し、家族を含めた関係機関との連携を密に質の高いサービスを提供し、家族の精神的・身体的負担の軽減を図ることに努めます。また、積極的に研修等に参加し自己の向上に励み、事故防止と感染予防対策を徹底しながら、効率的で効果的かつ安定した適正な経営に取り組んで参ります。 当初予算額 22,760,000 円
ヘルパーステーションもとよし	住み慣れた地域で安心して生活できるよう、職員一人一人の知識と介護技術のスキルアップに向けた計画的な研修機会を設定し、きめ細やかで質の高いサービスの提供に努めます。継続的な課題である介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら雇用につながる機会づくりを検討していきます。20名を超える職員数であることから事業管理を強化し効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組む、在宅生活を支えていきます。 当初予算額 44,845,000 円

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ	利用者・家族の意向を尊重し、地域の医療・福祉関係機関と連携して、利用者が満足する良質で安心できるサービスを提供するとともに、職員研修を強化しサービスの質の向上に努めます。また、職員が感染症の媒

	体にならないよう衛生管理と事故防止を徹底しながら、効率的で効果的かつ安定した適正な経営に取り組んでまいります。 当初予算額 11,679,000 円
訪問入浴サービスもとよし	利用者と家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して気持ち良く生活できるよう、利用者のニーズに沿った取り組みを積極的に進め、安全で良質なサービス提供します。職員研修を強化し、サービスの質向上を図りながら、効率的で効果的かつ安定経営に努めます。 当初予算額 14,413,000 円

④指定通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燦さん館デイサービスセンター	要介護者、要支援者の意思及び人格を尊重し、常に利用者、家族の立場に立って、利用者及び利用者家族のニーズに的確に対応したサービスを追求し、全ての利用希望者に対し、公平かつ平等に質の高いサービスが提供できる環境を整備します。また、家族の精神的、身体的負担軽減を図ります。 唐桑地域の特性を掴んでもう一步ふみ込んだサービスを実施し、各ネットワークとの情報等の共有を図り地域に密着したサービスを提供しながら利用者確保と経営基盤の安定確保に努めます。 当初予算額 72,074,000 円
気仙沼市福寿荘デイサービスセンター	介護保険に関する各種法令等に従い、介護を要する高齢者が可能な限り在宅で快適な生活が送れるように適切な介護サービスを提供し、要介護状態の悪化防止に努めます。また、指定管理者としての地域福祉推進、社協としての使命及び公益性を十分に認識し地域に根ざした、信頼される施設運営を行います。 関係機関・団体とは、連携強化をより一層図りながら利用者が長年住み慣れた地域で安心して暮らし続けることや在宅で介護に当たる介護者等の介護負担軽減を図ることに努めます。 なお、職員の資質向上及び接遇マナー等の向上を図り、通所する利用者の方により寄り沿ったサービスを行い、安定した施設運営及び経営に取り組みます。 当初予算額 39,972,000 円
やすらぎデイサービスセンター	利用者の残存能力に着目して個々のニーズの客観的な把握・分析を行い、自立を援助及び促進する目的で、また、利用者が在宅での生活を安心して継続していけるように家族の介護負担が少しでも軽減できることを目的にサービスを提供していきます。 なお、地域に根差した施設づくりを目標とし、関係機関との連携の強化や専門職向けの研修等への積極的な参加により、常に職員の資質の向上・サービ

	スの質の向上に努めます。 当初予算額 46,303,000 円
大谷デイサービスセンター	職員相互の気付きや工夫を重ね、利用者の特性に配慮し安心快適な質の高いサービス提供により満足度を高め利用率向上を目指すとともに、家族の介護負担軽減が図られるように努めます。また、地域住民との交流の機会を増やすなど積極的に地域と繋がることで地域ニーズを把握し、社協の各種事業とも連携しながら、地域との信頼関係を構築し、緊急時の相互支援も含め、地域に必要とされる事業所として付加価値を高めていきます。法令遵守の徹底による適正運営とともに、費用対効果を踏まえた安定経営に努めます。 当初予算額 38,608,000 円

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 「桑の実」	認知症の状態にある要介護高齢者の方で、9名（1ユニット9人定員）の方が入居し、家族的な雰囲気の中で馴染みの人達と一緒に、安心して暮らせるよう共同生活をしながら、認知症状の進行の緩和を図るとともに、その人らしい生活が送れるよう努めます。また、日常生活での機能訓練・健康管理・相談、援助等を行い、安心と信頼の絆を大切に、入居者の人格を尊重し、入居者の立場に立ったサービスの提供を図って参ります。 当初予算額 39,193,000 円

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	安心して在宅生活が送れるよう、福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努めます。また、住宅改修などの関連環境分野の専門知識習得と併せ、多職種との連携強化に努めます。本会の様々なサービスとのつながりを意識し、在宅生活を支える総合的な視点でのサービス提供を行います。 当初予算額 12,398,000 円

9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業	応急仮設住宅から災害公営住宅等への移行が進むなか、住民が新たな生活へスムーズに移行できるよう支援していきます。また、応急仮設住宅に残される住民の孤立感等を防ぐため、各関係機関団体等との連携を密にし、交流を中心とした支援によりコミュニティを維持できるよう支援します。 当初予算額 30,232,000 円
気仙沼市「絆」再生事業	東日本大震災の被災者等の孤立化の予防と自立に向けて、安心した地域生活が送れるよう、決め細やかな支援と地域住民による福祉コミュニティづくりを推進します。 被災者への訪問活動と地域支援が連動した福祉コミュニティづくりを目指します。 ・ 応急仮設住宅、みなし仮設住宅、自立再建者等を巡回訪問し、孤立化の防止や見守り、社会参加の支援、各種相談を関係機関に繋ぐなど問題の早期発見と課題解決に向けた支援を行います。 ・ 震災により住まいを移された方が、新しい地域に馴染み生活ができるよう繋ぎ役に努めます。また、行政等の関係機関をはじめ、地区社協や自治会、民生委員、ボランティア等、地域の支援団体等と連携を図りながら交流会を開催し、被災者間のみならず、地域住民が支え合える関係を構築する福祉コミュニティづくりを支援します。 ・ 災害公営住宅入居や防災集団移転の本格化による要援護者の転入居、及び応急仮設住宅等へ残る方へのサポートなど、支援者間での連携と情報交換をより密に行うことにより、支援の取りこぼしや途絶えがないよう一体となった支援に努めます。 ・ 被災者のフェーズに沿った支援が適切に行えるよう、職員の資質向上を図ります。 当初予算額 130,512,000 円
気仙沼市北部地域包括支援センター	唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。 「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に基づき、地域包括ケア構築に向けた取組みを行います。 ① 本年度から始まる「新総合事業」が円滑に進められるように介護保険関係機関等との連携を図っていきます。 ② 認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」「認知症サポーター養成講座」を実施し、「認知症の人と家族支援」についての検討会を開

	催し、今後の事業に繋げていきます。 ③ ケア会議や研修会を通じて、地域の専門職や地域の関係者がお互いの特色を理解し連携できる関係づくりを推進していきます。 当初予算額 28,226,000 円
南部地域包括支援センター	本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図ります。 ① 地域包括ケア構築に向けた積極的な取り組みを行います。 ② 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「認知症専門チーム」と連携しながら、認知症施策の取り組みを行います。 ③ ご本人の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法をケアマネジャーと相談しながら作成し、介護予防に努められるよう支援します。 ④ 安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。 本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等の医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみで支援ができるよう住民等への理解を深める取り組みをさらに積極的に進めます。 当初予算額 27,404,000 円
高齢者実態把握事業	高齢者の生活状況を把握するため訪問調査を行い、日常生活の中に隠れている様々な問題やニーズについて、地域包括支援センター等と協力・連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、様々な社会資源を活用し、課題解決に向けた支援をします。 当初予算額 津谷在宅介護支援センターの内 301,000 円
家族介護者交流事業	高齢者を介護している家族に対して、日帰り旅行を通じ介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放することと、参加者の心身のリフレッシュを図ります。また、交流を通じて互いの介護に対する課題解決を支援します。年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回） 当初予算額 在宅介護リフレッシュ事業の内 403,000 円 津谷在宅介護支援センターの内 134,000 円
介護者教室事業	高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。 当初予算額 津谷在宅介護支援センターの内 54,000 円
介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及啓発や地域における自発的な活動者の育成支援を行い、介護認定されていない高齢者に対し、要介護状態となることを防ぐとともに、運動器の機能向上、口腔機能向上、栄養改善等のプログラムを取り入れた介護予防教室を開催し、継続して介護予防が図られるよう支援します。

	当初予算額 津谷在宅介護支援センターの内 545,000 円
外出支援サービス事業	リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との間の移動を支援します。 当初予算額 外出支援サービス事業の内 232,000 円
大谷学童保育事業	発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となり通所児童の自主性及び社会性並びに創造性の向上、基本的な生活習慣の確立が図られるよう、従事職員の質向上を図り、保育サービスの充実強化に努めます。さらに今後の運営形態を見据えて、サービス提供では施設が位置する大谷地区の地域住民や子育て関係者が学童に関わる機会を積極的につくり、「地域の子どもは地域で育てる」という子育てに地域が関わることへの理解啓発に取り組みます。 また、継続的な避難訓練などリスク管理を引き続き徹底し、安心かつ安全な事業運営に取り組みます。 当初予算額 学童保育受託事業の内 8,769,000 円
気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業	被災した高齢者等の災害公営住宅や防災集団移転先での生活再建や自立生活を支援するために、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声がけ・相談等を行い、また、住宅におけるコミュニティへ参加勧奨等の支援により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努め、介護や生活困窮等の予防や対処に必要なサービスを、関係機関等に速やかにかつ的確につなげるよう調整する地域の拠点機関としての充実強化を図ります。 また、生活援助員が適切に高齢者等の相談等に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。 当初予算額 14,880,000 円

10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	平成28年12月の一斉改選に向け、行政担当課と連携しながら事務手続きを進めます。民生委員児童委員活動の円滑な推進を図るとともに、事務委託契約に基づき協議会の適正な事務に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協との連携及び南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、ブロック内の民生委員児童委員活動の推進をします。 委託契約を締結し、事務の適正処理に努めます。
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解を深めながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 委託事務契約に基づき、委員会事務の適正処理に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	気仙沼市内のボランティアサークル間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等開催を支援し、ボラン

	ティア活動を推進していきます。
気仙沼市老人クラブ 連合会	老人クラブ活動の活性を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。
本吉町老人クラブ連 合会	全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と併せ、関係機関や団体等との連携強化によるクラブ組織の基盤強化の推進、女性リーダーの育成と女性部活動の充実強化、全員参加型事業への見直しによる各種事業の活性化を重点目標とし、団体の適正な運営支援に努めます。
本吉地区遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員生活相談に関する事業など、団体の適正な運営支援に努めます。また、本吉地区の忠霊塔修繕に向けての取り組みを市と協議しながら進めていきます。